

平成 30 年 6 月 25 日

各位

株式会社 第四銀行

## 独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する「ソーシャルボンド（JICA 債）」への投資について

株式会社 第四銀行（頭取：並木 富士雄）は、中期経営計画「ステップアップ New Stage ～変革と飛躍～」における重要戦術「持続的成長に向けた ESG 経営の実践」の一環として、独立行政法人 国際協力機構（理事長：北岡 伸一、以下「JICA」）が発行するソーシャルボンド「JICA 債」（※）への投資を決定しましたので、お知らせいたします。

当行では、今後も本業を通じた社会的課題の解決に継続的に取り組むことで、地域やステークホルダーの皆さまとともに持続的な成長を目指してまいります。

※ソーシャルボンド：ESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮した社会貢献型の債券で、調達された資金は、基礎インフラ開発（上下水・衛生・交通等）や社会サービス（健康・教育・雇用・金融サービス等）へのアクセス改善等、社会的課題の解決に資する事業に充当されます。

### 記

#### 1. 投資の目的

- ・ JICA は、日本政府の定めた開発協力大綱に則って ODA（政府開発援助）政策を担う世界最大の二国間援助実施機関として高く評価されています。
- ・ 本ソーシャルボンドは、持続可能な社会の実現を目指した ESG（環境・社会・ガバナンス）投資として、開発途上地域の経済・社会の発展を実現するとともに、長期的な視点で環境配慮や社会的課題の解決に貢献していくことを目的としています。
- ・ また、2015 年 9 月に採択された国連の「持続可能な開発目標」（SDGs）に関連して日本政府が策定した SDGs 実施指針ゴール 17「パートナーシップで目標を達成しよう」の具体的な取り組みの中に JICA 債への投資が挙げられています。
- ・ 当行は、そうした JICA 債の趣旨に賛同し、当行が中期経営計画「ステップアップ New Stage ～変革と飛躍～」において掲げる重要戦術「持続的成長に向けた ESG 経営の実践」の一環として、本業を通じた社会課題の解決と社会貢献度・情報発信力をさらに強化することを目的に投資し、ステークホルダーとの「共通価値の創造」を実現してまいります。

#### 2. 本債券の概要

債券名	第 44 回国際協力機構債券（JICA 債）
発行総額	150 億円
当行投資額	8 億円
利 率	0.20%
期 間	10 年（2028 年 6 月 20 日償還）
発行日	2018 年 6 月 28 日

以上

【本件に関するお問い合わせ先】 025 - 229 - 8121  
総合企画部 ESG 推進室／田村（内線：4015）